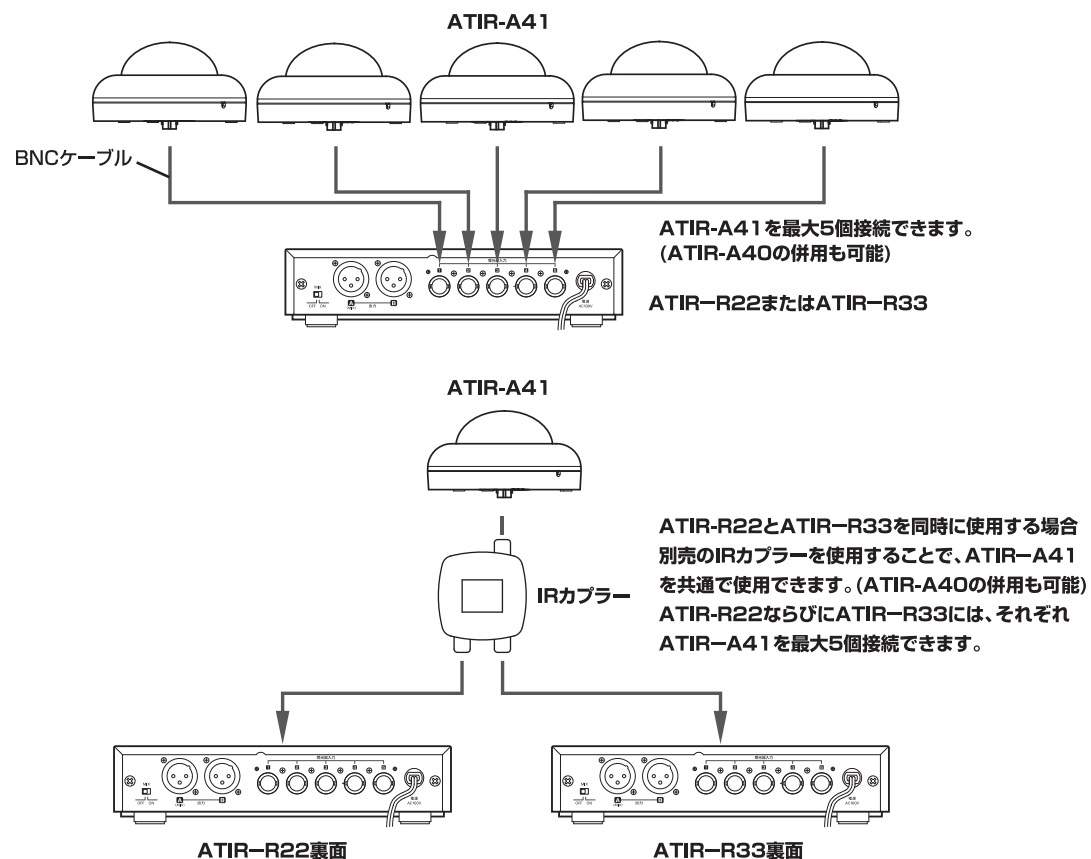


## 受光ユニット：接続例



## テクニカルデータ

### 2MHz・3MHz帯共用赤外線受光ユニット:ATIR-A41

外形寸法:  $\phi 108 \times H55.5\text{mm}$   
質量: 140g  
●付属品: 取付ブラケット 1個  
取付ブラケット固定ネジ 2本

## 故障かな?と思う前に

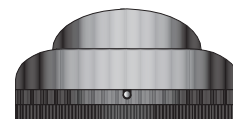
### レシーバーが受信しない

・電源LEDは点灯していますか?  
→レシーバーの同軸ケーブルを確認してください。  
・マイクと受光ユニットとの間に障害物がありませんか?  
→直視可能な場所に設置してください。  
※距離は室内の状況により変化します。  
→受光ユニット：設置例を参考に到達範囲内でご使用ください。



## 取扱説明書

### 2MHz・3MHz帯共用赤外線受光ユニット



### ATIR-A41

## 特長

- 電波を使わない赤外線伝送方式。  
隣接した部屋との混信の心配がありません。
- 本機は「2MHz・3MHz帯共用赤外線受光ユニット」で、  
レシーバーATIR-R22, ATIR-R33専用受光ユニットです。
- 天井や壁に取り付けられる受光ユニットにより、360°  
のワイドレンジに安定した受信を実現。
- 指向性のある受光ユニットATIR-A40との併用が  
可能です。

お買い上げありがとうございます。お使いになる前にこの説明書を必ずお読みください。  
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

### ⚠ 注意

- 本機は「2MHz・3MHz帯共用赤外線受光ユニット」で、レシーバー  
ATIR-R22, ATIR-R33専用受光ユニットです。
- 湿度の高い場所に置かないでください。また水がかからないように  
してください。誤って水が入ると感電、故障や火災の原因になります。
- 梱包のポリ袋は幼児の手の届かない所に置いてください。  
また火のそばに置かないでください。
- 汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 弊社「赤外線コードレス会議マイクロホンシステムATCS-60」の  
マスターコントロールユニットATCS-C60に接続しないでくださ  
い。機器の破損及び故障の原因になります。

### ⚠ 設置上の注意

- 太陽光が直接機器に当たらないように、カーテン、ブラインドなどで  
遮断してください。  
また、受光ユニットは、窓から少なくとも2~3m離して設置してくだ  
さい。
- 受光ユニットを照明器具の近くやスポットライトの光があたる場所に  
設備しないでください。
- 受光ユニットは、蛍光灯から50cm以上離して設置してください。
- 調理台の近くなど、油、蒸気、熱のあたる場所には設置しないでくだ  
さい。
- 振動する場所には設置しないでください。
- プラズマディスプレイ、同時通訳システムなど赤外線を使用した機器  
とは、同時使用できない場合があります。
- 赤外線の到達距離は、天井や壁などの色や材質によっても変化しま  
す。
- 到達距離とは無関係にノイズが発生する場合があります。その場合  
には適切な場所に受光ユニットを設置してください。
- その他下記の赤外線発生源の近くに受光ユニットを設置すると、  
システムの動作不良やノイズが発生する原因となる可能性があります。  
受光ユニットの設置にあたっては、下記の赤外線発生源に近づけ  
ないように注意してください。
  - ◆ 照明器具
  - ◆ プロジェクター(液晶やDLPなど)、OHP、白熱電球など
  - ◆ 水銀灯、ハロゲン灯、インバーター式蛍光灯
  - ◆ プラズマディスプレイ
  - ◆ リモコン、赤外線マイク、赤外線LANなどの赤外線機器
  - ◆ 調光器
  - ◆ デジタルパワーアンプ



株式会社オーディオテクニカ

プロオーディオ営業部プロフェッショナルSS課

<http://www.audio-technica.co.jp/proaudio>

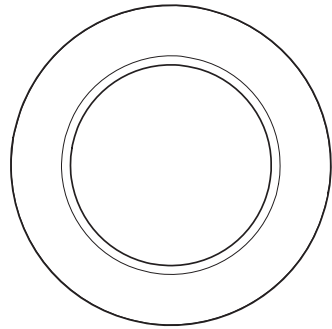
製品保証及び修理などにつきましてはお買い上げのお店、  
または別紙記載の弊社営業所までお問い合わせください。

R100

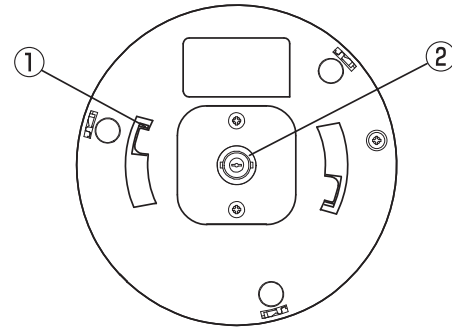
環境保護、資源リサイクルのため  
古紙配合率100%再生紙を使用しています。  
142312660

## 受光ユニット:各部名称と働き

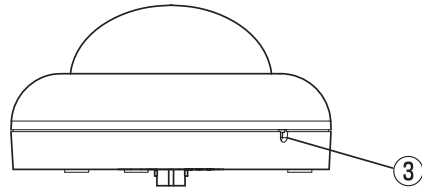
<受光ユニット平面図>



<受光ユニット下面図>

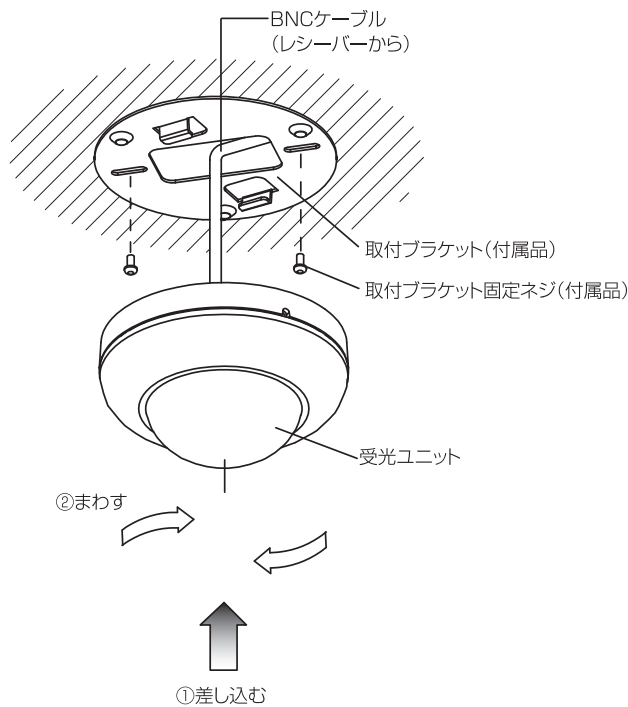


<受光ユニット側面図>



- ①取付用フック・・・取付ブラケット（付属品）に取り付けるときに使用します。
- ②BNCコネクタ・・・配線方法は（受光ユニット：設置方法並びに接続例）をご参照ください。
- ※BNCケーブルは付属されておりません。
- ③電源LED・・・配線後レシーバーの電源ON時に点灯します。（青色）

## 受光ユニット:設置方法



- ①設置面に取付ブラケット（付属品）を取付ブラケット固定ネジ（付属品）で固定します。
- ②取付用フックの位置を確認しながら、受光ユニットを取付ブラケットに取り付けます。
- ③そのまま時計方向に回すと、受光ユニットが固定されます。
- ※受光ユニットが取付ブラケットにしっかり固定されたことをご確認ください。
- ※推奨ケーブル：75Ω 同軸ケーブル3C-2Vまたは5C-2Vを推奨します。

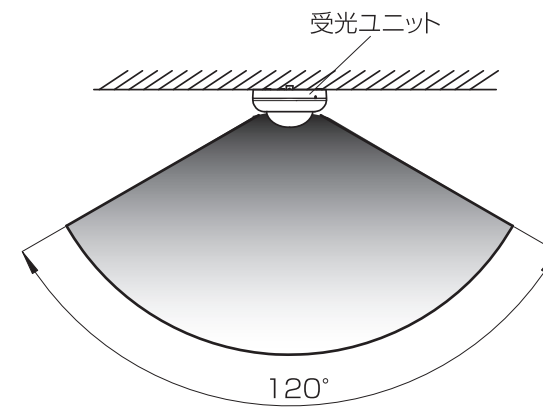
### ⚠ 取り付け上の注意

- 受光ユニットのコードを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線することがありますのでご注意ください。
- 取り付け場所の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故に対する責任は、当社は一切負いません。

### ⚠ 注意

- 受光ユニットは、レシーバー本体と接続してください。
- ATIR-A41**は**ATIR-R22**と**ATIR-R33**の両方に使用可能です。
- マイクロホン下部の赤外光受光部及び受光ユニットは手で覆わないでください。また受光部と受光部との間に仕切りや障害物があるとノイズが混入したり、音が出なかったりする原因になります。

## 受光ユニット:赤外線到達範囲(イメージ)



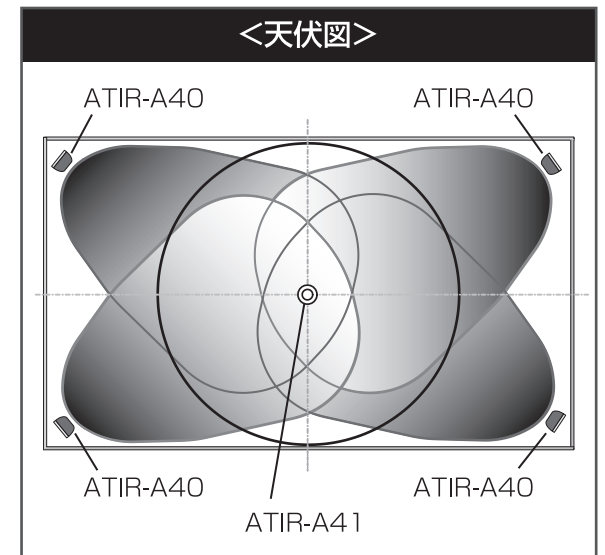
※ 赤外線到達距離は約10m、受光範囲は約120°です。  
【ATIR-T22/T33 Hiモード使用時】

### ⚠ 注意

- 使用者の影になったり物陰になったりしている受光ユニットに赤外線は届きません。
- マイクユニットから複数の受光ユニットが見えるように設置してください。
- 赤外線受光部を手などで覆わないでください。

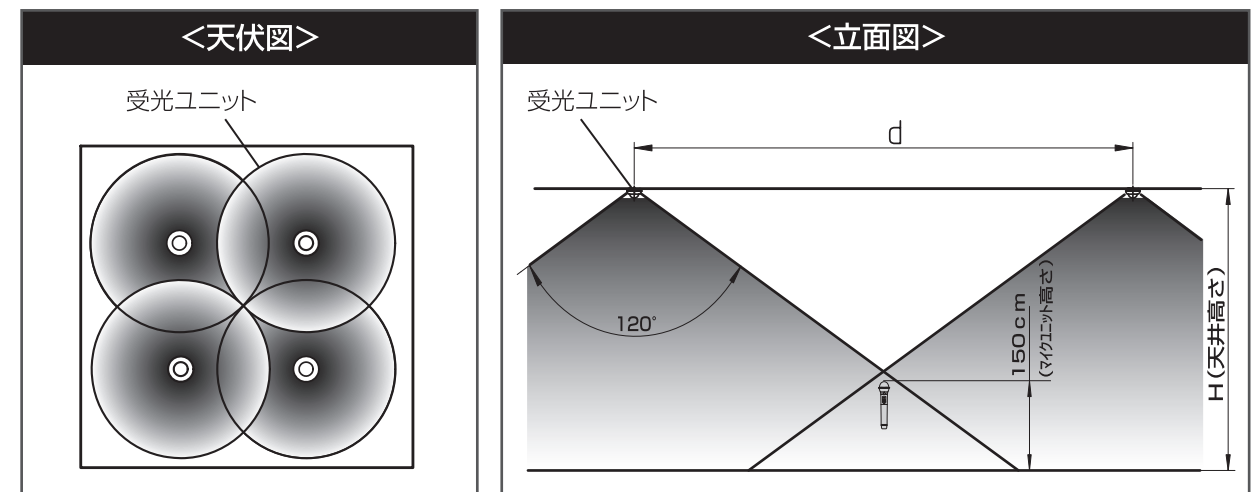
## 受光ユニット:設置例 1

ATIR-A40+ATIR-A41 受光エリアイメージ



## 受光ユニット:設置例 2

受光ユニットを天井に設置する場合（マイクユニットは地面から150cmの高さを想定）



H=天井の高さ(m) 【例】  
d=受光ユニット間隔(m)

| 天井の高さH | 間隔d     |
|--------|---------|
| 2.7m   | 4.2m以内  |
| 3.0m   | 5.2m以内  |
| 3.5m   | 6.9m以内  |
| 4.0m   | 8.7m以内  |
| 5.0m   | 12.1m以内 |

※具体的な設置位置については別途ご相談ください。